

平成25年1月21日

会員各位

日本シルク学会

会長 三浦 幹彦

### 日本シルク学会第60回記念大会のご案内

2013年に第60回目の研究発表会を迎える日本シルク学会では、その記念の節目に第60回記念大会を開催することになりました。記念事業として、シルクシンポジウム2013、学会誌電子ジャーナル化、学会ロゴマークの制定を行う予定です。シルクシンポジウム2013は、大日本蚕糸会との共催により、「絹の未来への新たな風」をテーマとして、シルクの未来への新しい息吹を紹介していきます。研究発表会とあわせてシルクシンポジウムへも奮ってご参加願いますとともに、シルクに関心のある方々も是非お誘いください。ようご案内いたします。

#### 記

#### 1. 会場：蚕糸会館 6階

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4

#### 2. 開催日時：平成25年5月30日(木) 13:00～シルクシンポジウム2013

17:30～懇親会

31日(金) 10:00(予定)～第60回研究発表会・総会

#### 3. 参加費

種別	区分	研究発表会	シンポジウム	懇親会(予定)
会員	正会員(一般)	2,000円	無料	5,000円
	正会員(学生)	1,000円		
	名誉会員	2,000円		
	賛助会員			
	1名	無料		
	2名以上	2,000円		
非会員	一般	2,000円		
	学生	1,000円		

#### 4. 記念大会の参加登録

日本シルク学会第60回記念大会の参加には事前参加登録が必要です。第60回記念大会参加申込書により、平成25年5月10日(金)迄にメールまたはFaxにて参加登録されますようお願いいたします。

#### 5. 研究発表会講演申込み

- 1) 第60回研究発表会の口頭発表を希望する場合は、記念大会への参加登録と同時に第60回日本シルク学会研究発表会講演申込書の提出が必要です。
- 2) 口頭発表の資格は25年度会費を納入した会員に限ります。なお、共同発表者に非会員を含むことは差し支えありません。
- 3) 口頭発表は要旨原稿を作成していただきます。要旨原稿は別添の日本シルク学会口頭発表要旨執筆要領に従って作成し、記念大会参加申込書および口頭発表申込書とともに平成25年4月10日(水)迄に投稿願います。

## 6. 口頭発表について

- 1) 講演時間は1課題につき質疑応答を含めて15分間を予定していますが、講演課題数により講演時間を変更する場合があります。
- 2) 講演者は各自パソコンを持参ください。なお、パソコンを持参できない場合には、Microsoft PowerPoint2007 またはそれ以上のバージョンをインストールしたパソコンを用意します。ただし、講演用ファイルは必ずウイルスチェック済みのUSBメモリまたはCD-Rに保存して持参ください。

## 7. 懇親会

シルクシンポジウム2013の終了後、17:30から蚕糸会館6階にて予定しています。

## 8. 記念大会参加申込書・研究発表会講演申込書の送付先

**送付先: E-mail: 60taikai@silk.or.jp または Fax: 03-3362-6210**

日本シルク学会第60回記念大会実行委員会事務局 (担当: 花之内智彦、Tel 03-3368-4891)  
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-25-1 蚕糸科学研究所内

※ 学会ホームページ (<http://www.silk.or.jp/ssstj>) から参加登録および口頭発表に必要な申込書式をダウンロードできます。

.....

# シルクシンポジウム 2013

テーマ: 絹の未来への新たな風

絹文化の永続的な継承と発展のためには、シルク関連分野へ新たな風を吹き込むことが大切です。その新風を生み出すためには、差別化できる高品質シルクの創出、桑やシルクの新しい利用技術の開拓などが重要になってきます。本シンポジウムでは、国内のみならず隣国韓国の事例も含めた新しい取組みによる産業復興、新たな雇用の創出と地域振興による社会的貢献、シルク関連研究の最新事例を紹介していただき、さらにこれらの取組み及び研究成果の産業化への可能性や産業化に際しての問題点を考え、シルクの未来への新しい息吹を議論します。

### 1. 福島におけるシルク産業への復興支援とその展開

福島県ハイテクプラザ福島技術支援センター 所長 三浦文明 氏

### 2. 国産繭の特徴を活かす糸づくり

株式会社宮坂製糸所 専務取締役 高橋耕一 氏

### 3. 養蚕関連の技術を導入した新たな地域活性化事業と高齢者労働力の活用

公益社団法人浦添市シルバー人材センター 理事長 積 洋一 氏

### 4. 韓国における桑果実の生産とその利用

韓国 国立農業科学院 農業生物部 蚕桑資源研究室長

Sung, Gyoo Byung 博士

### 5. シルク構造解析を基にしたシルク人工血管の開発

東京農工大学科学博物館 助教 中澤靖元 博士

パネルディスカッション 「新しい風の産業化への道筋」

コーディネーター: 瓜田章二 博士

(なお、シンポジウムの講演課題名については、一部変更することがあります。)